

品川区景観計画における「天王洲地区」重点地区指定について

1 目的について

天王洲地区において、親水性の高い水辺や賑わいのある創造性の高い街並みを形成していくため品川区景観計画における重点地区に指定し、新たな基準を定め、よりきめ細やかな景観形成を誘導する。

2 パブリックコメント等の実施結果について

○6月11日から1ヶ月間実施のパブリックコメントでいただいた意見は別紙のとおり

3 今後の予定について

○ 令和元年10月 1日 施行（広報しながわ・区ホームページでの公表）

パブリックコメントでいただいた意見

募集期間：令和元年6月11日（火）から7月10日（水）までの30日間

※広報しながわ（6月11日号）および区ホームページに掲載

閲覧場所：都市計画課、区政資料コーナー、地域センター、文化センター、図書館、
区ホームページ

応募方法：郵送、FAX、持参、応募フォーム（区ホームページによる応募）

応募者数：4人（応募フォーム）

意見の要旨	区の考え方
<p>天王洲での良好な景観形成のための計画には賛成する。しかし、景観形成の方針で「魅力ある「アート空間」に出会う楽しみのあるアートの映える街並みの形成」という表現は、内容には賛同するが表現が分かりにくいので再考してはどうか。アートの映える街並みを強調した方が分かりやすいのではないか。</p>	<p>ご指摘を踏まえて、表記の仕方を再検討し、分かりやすい表現とします。</p>
<p>天王洲アイルはおしゃれな施設が沢山できて週末に訪れるのが楽しみな場所の一つだが、天王洲アイルの近くを流れる運河の臭いと汚さが残念だ。運河をもっと綺麗にすることはできないのか。</p>	<p>品川区では、天王洲運河につながる目黒川において、毎年、汚泥の浚渫や木杭等の障害物の撤去を行い、水質改善対策を実施しています。引き続き、河川・運河の水質改善に努めていきます。</p> <p>いただいたご意見は、河川管理者である東京都へ伝えます。</p>

<p>水辺の親水性を良くするために以下のことを検討してほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分断されている道路をつなげて散策の回遊性を良くする ・水門を通り抜けられるようにする ・区域内外での回遊線などの導入 ・古い防波堤の改修（ニューライフ横の防波堤が古くて無骨すぎる） 	<p>天王洲地区から歩行者が回遊できる圏域に「品川駅周辺」、「品川浦船溜まり」、「旧東海道品川宿」などがあり、それら周辺地区への案内や、地区内外を楽しく快適に回遊できる歩行者動線の確保についても、まちづくりの機会をとらえながら検討していきます。</p> <p>また、水門の通り抜けについては、個人利用であれば許可等は必要ありませんが、商業使用の場合は許可等が必要のため、関係機関との協議が必要です。</p> <p>いただいたご意見は、港湾関連施設を管理する関係機関へ伝えます。</p>
<p>放置自転車対策をしっかりとっていただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビル毎くらいの単位での十分な駐輪スペースの整備 ・2時間程度の無料時間 <p>この2点をセットで行えば、良識がある人なら必ず駐輪スペースに停めると思う。</p>	<p>天王洲地区での放置自転車の多くは、公開空地となっている民有地内のもので、地元まちづくり団体でも、通行の障害になる危険性や景観面から課題ととらえ、一時利用者の区画設定やシェアサイクルポートの設置など様々な対策を講じています。</p> <p>品川区では地元へ対策を講じるよう働きかけを行っており、今後は地元のまちづくり団体と協力し、民間駐輪場を活用した放置自転車対策を検討していきます。</p>